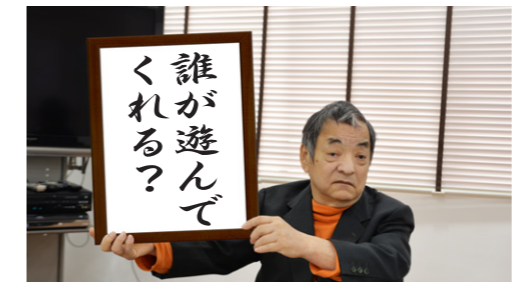


# Legend

## エンターテインメントの

実行

その⑬



創業者 檜垣 俊幸

「自然な快楽」を認める「エンターテインメントの発想」

今世紀末から20世紀初頭にかけては、まさにパラダイム（規範）の転換期です。情報化がますます進むことにより、あらゆる場面で今までうまくつき通してきた嘘が、白日のもとに曝されるようになっていくでしょう。こうして一部の人たちが自分たちの利益を守るために囲い込んできた制度の枠組みが急速に崩れていきます。

この変化の中で、今まで信じられてきた「幸せの記号」も急激に変化しています。高度成長期から右肩上がりの経済が続く「ジャパン・アズ・ナンバーワン」なんて言われていた頃までは、日本人であり、大手の一流企業に勤めていることが「幸せの証」でした。だから、厳しい受験戦争に勝ち抜いて一流大学に入ることが幸せへのレールとして、平均的な目標とされてきたのです。しかし、今やその路線は若者たちには通用しません。もっと言ってしまうと、日本人であることになんの幸せもアイデンティティも感じていないのではないのでしょうか。

そうした中で、現時点では負荷がかからないことが一番幸せなようで、友達でも、親子関係にしても、負荷のかからない軽い人間関係が求められています。国家と個人についても、できれば負荷がかからない方がいいのです。文句は言うけど自分が国のために何ができるかとは考えない。ましてや会社のために何ができるかとは考えません。情報化社会は嘘がつけなくなる時代だと言いましたが、個人の本音もストレートに出てくるのです。

人間というのは不思議なもので、誰もつきたくてウソをついているわけじゃありません。本当の事を言った方が気持ちがいいに決まっています。だから、嘘をつかないで生きていきたいと皆、心の底では思っているのですが、嘘というのは、人間の遺伝子の中に組み込まれた防衛本能なのです。赤ちゃんがニコッと笑うのは庇護を求めるサインですが、成長すると嘘をつきはじめます。子供の頃、どんな時に嘘をついたかと言うと、親に叱られない



モデル：LITZA / Height:176cm B:83 W:61 H:89 事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

### adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

ために嘘をついたのではないのでしょうか。大抵は嘘がバレてもっと叱られることになるのですが、ともあれ、嘘というのは基本的に防衛本能がつかせているのであって、本当はつきたくないものなのです。若いうちは「自分に正直に生きたい」「自分のやりたいことを見つけたい」とよく口にしますが、そこに俗に言うカンフォタブル（快適さ）を見出しているのです。それもどちらかと言うとナチュラル・カンフォタブル、自然な快楽です。そういうものを求めている時代において、それを素直に認めるのが「エンターテインメントの発想」なのです。

#### 誰が自分と遊んでくれるのがキーワード

では、負荷がかからないためにはどうすればいいか？ そこに、楽しい、面白い、オカシイといった「エンターテインメント性」が不可欠な要素として浮上ってきます。人間は喜びを感じる時に、無理なく新しいものを受け入れていきますから、予測・予感・予言そのものが、わくわく、ドキドキさせるようなものでなくてはなりません。悲観的な「予測」、嫌な「予感」、滅亡の「予言」がはびこる中で、盛り上げていこうというのは土台無理な話で、そうしたエモーショナルな部分を組み立てるための演出材料がエンターテインメントです。すなわち、みんなが欲しいがっている、「楽しい」「快適さ」というアメニティ的な要素を提供することで負荷を取り除き、明るい「予測」「予感」「予言」を喚起させるのです。

これまでビジネスの世界で扱われてきたのは、全て説得型の情報でした。工業化の時代には物の優位性を訴え、次は便利さや快適さをアピールしました。近年では、マーケット・インで消費者ベネフィットだと言われていますが、実はこの手法も、もはや時代遅れで、消費者ベネフィットで消費は動かなくなってきています。

では何かといえば、私は「視聴ベネフィット」だと言っていました。テレビコマーシャルで言う15秒のスポットで、「楽しい」「オカシイ」「面白い」というベネフィットを提供し、そこに商品を当てはめていくだけです。何の説明も説得もしません。

これだけ情報が発達してくると、ある商品がどんな性格を持ち、どんな使い方ができるかということは、すでに消費者の方が詳しいのです。発表される以前に大体の事は伝わってしまいます。でも、テレビコマーシャルは人気が高い。番組よりもコマーシャルを楽しんでいる視聴者も結構いるくらいです。というのは、視聴者はテレビに対して自分と遊んでくれることを求めているからです。商品情報はそれに付随するものであって、まず「面白い」とか「へんだ」とか思わせなければ何の反応も返ってきません。これは非常に重要なポイントです。ゲームと同じで、とにかく遊んでくれるアイテムが欲しいのです。いつの世も、どれだけ自分と遊んでくれるかが社会全体のキーワードなのです。

(次号へ続く)

## Keyword：マッサン（2）

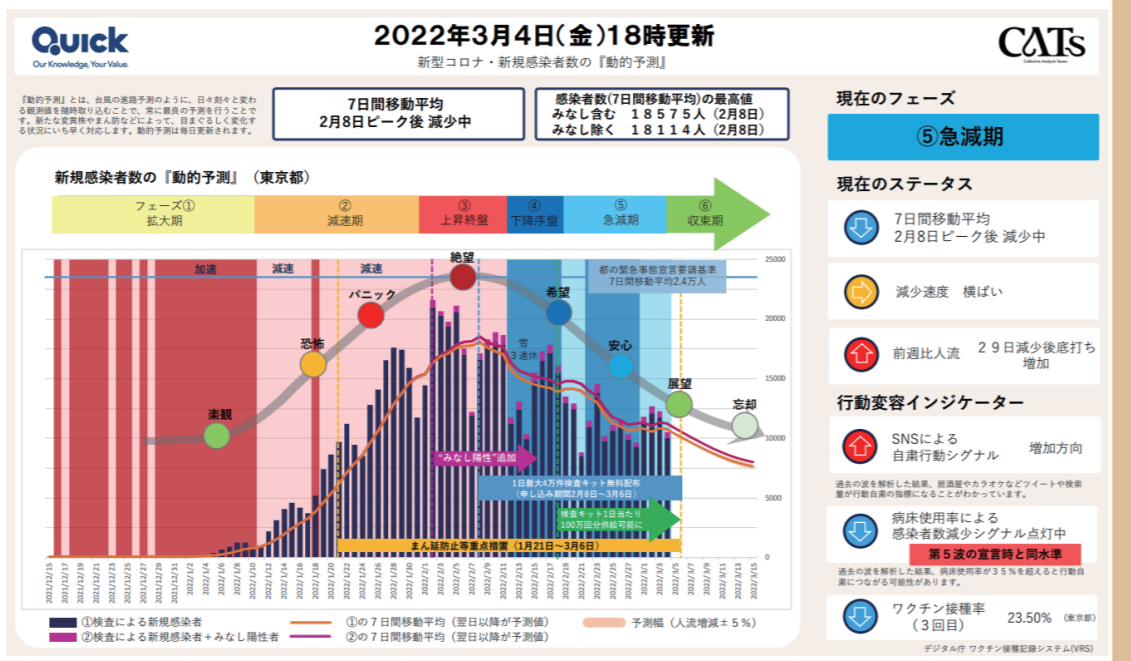
本誌・先月号を発送した日（3/22）に、まん防も解除され、感染が完全に収まったわけではないですが、感染対策を実施しながらの日常に戻りつつあります。しかし、これまでのように一旦感染がほぼ収まる感じではなく、第6波のピークは過ぎたものの、既に感染者数が高止まりした状況が続いています。第6波に関しては、毎日発表されている東京都の感染者数の推移を眺めていてもわかり難かったですが、シンクタンク山猫総合研究所代表の三浦瑠麗氏らのチームが開発した「CATs（Collective Analysis Teams＝リアルタイム社会診断システム）」と呼ばれる予測モデルは非常に判断しやすいデータとなっていました。日々更新される多様なデータをインプットして修正される「動的予測」になっていることが、従来の予測と異なるもので、人流や人々の行動変容などを反映した予測となっていました。早い段階から第6波のピークも予測されていました。三浦女史と言えば、最近よくテレビ（朝生など）でも見掛けますが、かなりの才女ですね。次の第7波が、XD（デルタクロン株）になるのか、XE（オミクロン「BA.1」× 亜型「BA.2」）で来るのか、それ以外の新変異株が出現するのか、今の段階では何とも予測できませんが、何れにしてもまたピークを迎えることになるでしょう。何とか、イベントや展示会の開催にブレーキが掛からない程度で推移して欲しいものです。

※以下の話の中の人物は敬称を省略して記載します。

さて、ようやく、ここから先月号からのタイトルにあるマッサンの話に繋がります。あのニコウキスキーを創業したマッサンこと、竹鶴政孝はジャパニーズ・ウイスキーの歴史を開いた人物として有名ですが、実は殆ど知られていませんが、その竹鶴政孝がウイスキー造りを学ぶためにスコットランドへ留学した時期は、まさにスペインインフルエンザによるパンデミックの真っただ中だったのです。しかし、竹鶴の物語には不思議なことに、一切、パンデミックの話が出て来ません。竹鶴氏は、当時、日本で唯一、醸造学科のあった大阪高等工業学校（現・大阪大学工学部）を卒業後、醸造学科の先輩だった岩井喜一郎のついで、アルコール蒸留業界の雄で、洋酒造りにも乗り出していた摂津酒造に就職しました。当時の洋酒はワインにしても輸入した原酒にアルコールや砂糖を加えて日本人好みの味にしたものであり、ウイスキーに至ってはアルコールにウイスキー風の味と色をつけた完全なイミテーションでした。その当時は第一次世界大戦景気の最中にあり、摂津酒造もアルコール蒸留の本業で大いに潤っていましたが、経営状態が良好な時期に次の一手を考えなければならないと、社長の阿部喜兵衛は、入社したばかりの竹鶴（24歳）にスコットランド行きを命じたのでした。軍需物資であるアルコール製造に従事していることを理由に兵役を免れることになった竹鶴に白羽の矢を立てたわけです。そして、世界中で現在のようなパンデミックの最中、先月号にも記載の通り、2018年6月には欧州全土にインフルエンザが広がっている時期の同年6月29日に、竹鶴はサンフランシスコ経由でスコットランドに向けて、神戸港のメリケン波止場から出航する東洋汽船の天洋丸に乗船したのでした。この時、見送り来た人物の中には、摂津酒造の阿部社長や先輩の岩井だけでなく、寿屋（現・サントリー）の鳥井信治郎や、後に朝日麦酒（現・アサヒビール）社長になる山為硝子の山本為三郎も姿を見せていました。出航から20日ほどでサンフランシスコに到着し、サクラメントのワイン工場で1ヶ月ほど実習したという記録はありますが、ここでも本当ならインフルエンザがまん延しており、外国人である竹鶴を快く受け入れていたというのが信じられないですが、今日のように、ウイルスの詳細がわかっていなかった所為か普通に過ごしていたようです。その後、ニューヨークにも立ち寄った後、大戦下でビザ発行が遅れたこともあり、足止めされていたようですが、11月になってドイツが降伏したことで第一次世界大戦が終結し、やっとビザが下りてリバプールに向かうことになりました。

ここでちょっと、話は逸れますが、1歳の時に囲炉裏に落ち、左手に大火傷を負った、あの野口英世も、ちょうど竹鶴が日本を発った1918年6月に、ロックフェラー財団の意向を受けて、まだワクチンのなかった黄熱病の病原体発見のため、当時、黄熱病が大流行していたエクアドルへ派遣されました（当時41歳）。そして、直ぐに病原体を特定することに成功し、この細菌をもとに野口ワクチンを開発しました。この成果により、野口英世はエクアドル軍の名誉大佐に任命されています。この1918年、野口英世の母は、パンデミックの最中、スペインインフルエンザにより11月10日に65歳で死去しています。そして、その10年後に野口自身も黄熱病を発症し51歳の若さで亡くなっています。全く事象は異なりますが、歴史上の人物2人が同じ時期に重要な仕事をしていたということは興味深いですね。

そして、その11月に竹鶴もリバプールに向かうことになったわけですが、竹鶴が乗った豪華客船オルディナ号は、リバプールに着く前日の1918年12月1日深夜に、アイルランド南部沖で、イギリスの貨物船コナクリー号と衝突し、コナクリー号側の犠牲者は100人以上に上り、生存者はたった1名という大惨事に巻き込まれてしまったのでした。次号へつづく。



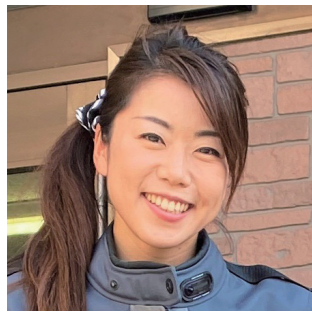
出典：QUICK Money World

Advertisement for 'ほりたりんぐ' (Hori Taringu) adtain version. Features a photo of a smiling woman (堀田 竜成) and text: 『ほりたりんぐ』 adtain 版. Includes a QR code and '公式ホームページ'.

ご意見・ご感想は [adtain@adproject.co.jp](mailto:adtain@adproject.co.jp) まで メールでお寄せください。発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 [www.adproject.co.jp](http://www.adproject.co.jp)

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

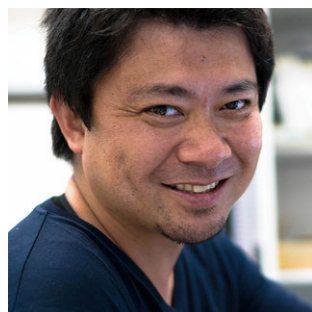
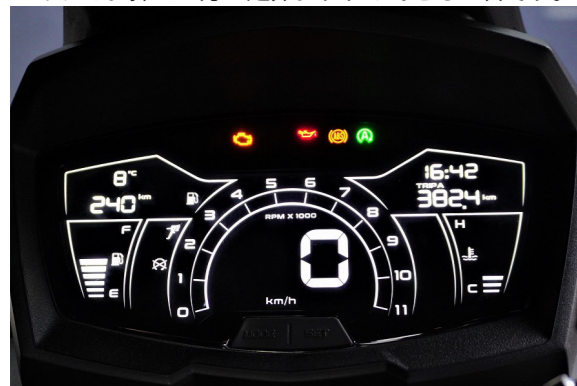
Advertisement for 'adproject 公式 facebook を check' with a search bar and QR code. Text: adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!



木村 亜美

■Title：アーバンアドベンチャースクーター【Aprilia SR GT】

イタリアのオートバイメーカー『Aprilia (アプリリア)』。趣味性の高い大型バイクから日常使いのスクーターまで多種多様に展開しているアプリリアから、今年新たに登場したスクーター SR GT を先日試乗しました。アーバンアドベンチャースクーター SR GT は、街中の日常使いから、キャンプや林道ツーリングまでこなせる頼もしいマシンです。オフロード性能を高めた前後ロングストロークのサスペンションに、ブロックタイヤを標準装備。また、SR GT は優秀なアイドリングストップ機能を搭載しています。エンジンがストップしてから再始動までの早さ、発進時のスマートさがすごく気に入りました。見た目もオシャレで人目を惹きますよね。アプリリアらしい疾走感を楽しめます。バイクで走ることが好きな方、他人とは違うセカンドバイクをお探しの方へ是非おすすめできる一台です。



PRODUCER：須田 潤一

■Event：WBA&IBF 世界ミドル級王座統一戦

■Date：2022年4月9日

■Place：さいたまスーパーアリーナ

ゲンナジー・ゴロフキン (カザフスタン) × 村田 諒太 (帝拳) のボクシングミドル級王座統一戦が実現した。試合の前半は、村田選手が善戦し、もしかしたらゴロフキンに勝つのではと予感をさせてくれたが、中盤以降はゴロフキンのうまさ、強さが村田選手の上を行き、9Rにダウンを奪われ、セコンドからタオルが投げ込まれTKO負けという結果でした。この日本史上最大のビックマッチと言われた一戦をライブ配信したのは、『Amazon Prime Video』。昨年末の一戦では、井上尚弥選手がABEMA TVでペイパービューを活用して試合を放映している。スポーツ中継以外にも、オリジナルドラマ、映画などオリジナルコンテンツが溢れ出している。メディアとITが一緒になるといえば、かつて、ホリエモンが目指した「放送と通信の融合」そのままである。もはや、忘れ去られた話なのかもしれないが、このことをあの時、否定していた当事者の方々はどのように感じてるのだろうか？  
ホリエモンの話を少しでも聞く耳を持てたら、時代を切り開いてたかもしれないな。と感じた。大谷翔平の二刀流、マスターズ制覇 松山英樹、完全試合 佐々木朗希…等、時代を切り開き、世界へ挑戦する多くのアスリートがいる中で、ビジネスでも何か決り開けてほしいな…。

ということで、村田選手 感動をありがとうございました！




# Project 1.

**舞台『観劇者(再)』**  
開場から終演後まで“観劇する側”を描き、好評を博した『観劇者』が早くも再演！  
エーディープロジェクト&サンライズプロモーション東京共催で舞台を製作いたします！  
EXECUTIVE PRODUCER：岩澤 はやと

**コラ**  
P  
Producer's column

**[STORY]**  
東京のとある劇場の客席M列5番から14番に座る男女10人の観劇者たち。娘を親にきた夫婦や、彼氏を親劇に連れてきた彼女。ずっと観たくて仕方なかった作品を初めて観劇する女や、観劇そのものが生き甲斐となっている男。劇場という空間に特別な想いがある女や、とある事情で少しでも早く終演して欲しいと願っている男。そして、劇場の前を通り掛かって当日券で入った女と、主演を務めることになった友人を親にきた男。彼ら、彼女らはどのような経緯でこの舞台を観劇することになったのか。どのような想いで予定を空け、チケットを買ったのか。この作品は、客席開場から終演するまで、ご観劇されるお客様を描く物語。俳優が最後まで観劇マナーを守って演じます。  
2022年5月4日(水)～5月8日(日)  
全9公演@シアターグリーン BIG THREE THEATER  
公式サイト：<https://www.kangekisha.jp/top>


## Door of Adventure 2022

PRESIDENT：檜垣 俊吾

今月も引き続き、バイクイベントの話になりますが…「Door of Adventure」通称 DOA という、オートバイラリーツーリング(主にオフロード)の撮影に行ってきました。春と秋の年2回の開催イベントですが、春は毎年千葉のマザー牧場を起点に開催され、予約受付スタートからなんと18分間で満員御礼となるコマ図を使ったラリーツーリングが、今とても人気となっている。自分もラリーイベントの撮影は2回目ですが…クルマが通れない林道や道なき道を進む。とにかくオフロードバイクで追従しながら、時には先回りをしての撮影。通常の映像カメラマンに頼めない撮影となるため、多少バイクに乗れる自分が行くしかない。アドベンチャー風味溢れるダートコースは、自分が転倒しないので走るのに精一杯なところ…倒木している丸太越えや拳より大きい石が積み重なったガレ場、そして泥が濡れてツルツルヌタルタルなマディ路面など、ちょっと寿命が縮まる道ばかりを走らせられる。主催者からはオール舗装路の予定でしたが、要望もあって少しだけダートコースを盛り込みましたと聞いてましたが、まさに大嘘。オフローダーは嘘つきと時々聞きますが、こういう事かとあらためて実感した。200キロ強のコマ図を走り終えるのは、朝7時にスタートして17時までかかるが、何とか無事に転倒なく撮影を終えられた。昨年同様コロナ禍で日々状況が変わる中、開催準備をしたスタッフには頭が下がる。今年度もコロナ渦でのイベントが続くと思うが、徐々に開催も増やしてほしい。



# Project 3.

**新しいスタート**

第2プロジェクト 土井 晃範

**入学式**

先日、娘の中学校の入学式に出席してきました。コロナ禍ということで国歌も校歌も歌声が収録されたものを流すという不思議な形ではありましたが、親も同席出来たことが何よりも嬉しかったです。

私は山口県のド田舎の学校だったため9年間(小学6年・中学3年)同じメンバーでしたが、娘は3つの小学校が集まる中学校に行くため、初めましての人ばかりの状況に複雑な表情を浮かべていました。それでも話を聞くと私達の不安はよそに、友達作りや部活動など楽しみにしていることが多くみえました。『良かったあー！』

徐々にコロナとの共存に向かいつつある世の中なので、私も娘に負けずに新しい出会いに胸を躍らせながら、新しい事に挑戦をしていくリスタートを切りたいと思います！  
では改めて自己紹介を…土井晃範(どい あきのり) 36歳 山口県防府市出身 好きな…

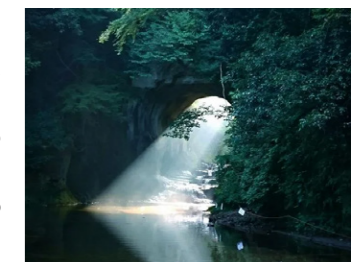
# Project 2.



安永 涼乃

■Title：自己紹介

はじめまして。安永涼乃と申します。出身は千葉県君津市です。3月に昭和音楽大学を卒業致しました。大学では演出について学んでおりました。ミュージカルやオペラ、バレエ、ジャズ、ポピュラー、ライブといった様々なジャンルの公演を行いました。学内実習での経験を生かせるような仕事がしたいと思っていたので、縁あってこちらの会社に入社することができて大変うれしく思います。出身の君津市はすごく自然豊かで、お水がおいしいところなんです。私は生まれ育った君津市がとても気に入っています。少し前に濃濃の滝(のうみぞのたき)というジブリの世界のような神秘的な光景の場所が SNS で話題になり、急に人が集まっ



濃濃の滝▲

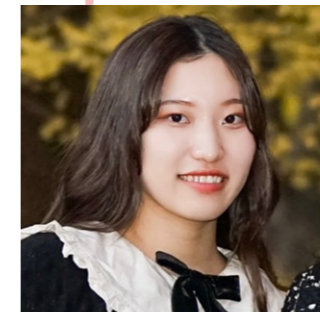
いて驚きました。もし興味がある方は、早朝に行ってみることをおすすめします。私は、中学、高校と6年間吹奏楽部に所属しており、トランペットをやっていました。高校の吹奏楽部は、マーチング活動をしていて、とにかく部活に打ち込んでいました。練習は厳しかったですが、とても良い思い出です。音楽にずっと触れていたこともあり、音楽を聴くのも、演奏するのも、歌うのも大好きです。趣味はたくさんありますが、フィギュアスケート選手の羽生結弦さんを応援しており、競技を見るのが毎回楽しみます。お気に入りのプログラムは、2011-2012「ロミオとジュリエット」と2014-2015「オペラ座の怪人」です。特に『オペラ座の怪人』は、私が進路に悩んでいた時期のプログラムで、この時の羽生選手をみて進学先を決めました。この出来事がなければ、私は芸術方面には進まずに、競走馬のお世話をする厩務員を目指していたと思います。その他には、舞台観劇によく行きます。舞台のジャンルですと、ミュージカルが特に好きです。ロンドン系をよく見に行きます。アニメ・漫画が好きなので、2.5次元舞台にもよく行きます。月一回は観劇の予定を入れて、日々の励みにしています。



▲「オペラ座の怪人」

初めての社会人で、不安もたくさんあり、責任の重さも今までの比ではないと思います。ですが、これまでの自分の経験がまったく役立たないということはないと思うので、小さなことの積み重ねで努力していきたいです。まずは、使えないソフトや、仕事のやり取りなど、先輩方の真似をしながら、一生懸命勉強し、一日でも早く一人前になれるように精進していきたいです。こんな私ですが、暖かく見守っていただけると幸いです。これからどうぞよろしくお願致します。

# Project 4.



中井 萌永

■Title：よろしくお願致します！

初めまして。4月から新卒で入社しました、中井 萌永(なかい もえ)と申します。出身は埼玉県ですが、育ちは北海道の札幌市です。高校卒業と同時に上京し、3月にプライダルの専門学校を卒業致しました。私の趣味は国内のドラマを見ること、音楽を聴くことです。一番好きなドラマは「花より男子」です。音楽は、backnumber やマカロニえんぴつ、Vaundy をよく聴きます。また最近では、コロナウィルスの影響によって、おうち時間が増えたことをきっかけに、アニメや YouTube も見るようになりました。主に王道のアニメや、最近話題の YouTuber を見ることが多いです。オススメのアニメや漫画がありましたら、是非教えて頂きたいです。また、私は旅行が好きで、休日は友達と遠出することがあります。最後の学生生活の間にたくさん海外旅行をしたかったのですが、コロナウィルスが終息することなく学生生活を終えてしまったためその夢は叶いませんでした。ですが、専門学生の2年間の中で名古屋・大阪・京都・神戸・博多などには行きました。次は沖縄に行ったことがないため、車の免許を取り終えたらドライブしながら観光したいと思っています。そしてコロナウィルスが落ち着き、元の生活に戻ることができたら、念願の海外旅行をしたいです。4月から社会人デビューをし、分からないことだらけで不安と緊張の日々を送っていますが、皆さんに温かい言葉をかけて頂き、徐々に緊張が解れてきました。また毎日たくさんの知識を学び、吸収しているため自分自身の成長を実感しています。今後より多くの仕事に携わり、様々な現場に立ち合っていきたいので、是非他のプロジェクトのお手伝いもさせて頂いたら嬉しく思います。私は自分に自信がないのですが、この会社で自分のことが好きになれるくらいポジティブで素敵な人間に成長できるよう頑張っています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願致します。

